

慢性肝不全の急性増悪（Acute-On-Chronic Liver Failure）の全国調査（平成30年～32年度）

へのご協力をお願い

Acute-on-chronic liver failure (ACLF) は予後不良の難病であり、我が国における実態を明らかにして診断基準を構築することは、治療法や予防法の確立のためにも大変重要なことであり、社会的意義も大きいものがあります。

厚生労働省「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」班では埼玉医科大学病院 消化器内科・肝臓内科を主幹施設として、全国集計を実施し、その実態、治療及び予後の変遷を明らかにすることを目的に全国規模の調査を実施しております。京都医療センター消化器内科においてもその趣旨に賛同し、調査協力を行います。

対象者：2017年1月～2019年12月に慢性肝不全の急性増悪によって治療を受けた方

調査内容：対象患者さんのカルテ等から各種治療経過中の臨床所見、血液検査及びCT検査などの画像検査のデータ等

当科から提供するデータには氏名や住所、カルテ番号など個人を特定できる情報は含んでおりません。また、個人情報の保護・管理は厳重に行われ、調査の結果が学会や学術誌に発表される場合でも個人の特定が可能な情報が載せられることはありません。

本調査は、当院の倫理委員会の承認を得ております。

この調査協力に対して提供を希望しない場合は、お手数ですが、平日の9時から17時の間に下記までご連絡ください。

皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。

問い合わせ先：〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町1-1

国立病院機構京都医療センター消化器内科

診療部長 勝島 慎二

電話：075-641-9161（代表）